



発行所 愛知県山岳連盟
 発行人 安藤 武典
 編集人 中平等 新一
 名古屋市天白区中平3-1902
 TEL&FAX 052-802-8062

◇ 4月16日(土) 愛知県山岳連盟定時総会(県スポーツ会館) <http://www.geocities.co.jp/Athlete/1653/>

猿投山頂上へ駆け上がる！
 ～3月5日(土) 愛知山岳マラソン～



個人会員登録制度導入に向けて

愛知県山岳連盟加盟団体の指導員資格保有者、あるいは岳連役員や高校体育連盟などで活躍された方々が、退職や勤務の都合で、それまで所属していたクラブから離れる場合などの受け皿がほしいという声が出てきております。

現在、全国の各県で一般向けの安全登山教室や登山講習会が盛んに行われていて、それを通じて知り合い適当な山岳会への入会のチャンスを得たり、仲間ができてクラブが結成されていく例が見られます。更にスポーツクライミング選手の受入れの制度も整える必要があるとされています。これらについて日本山岳協会でもある程度の指針を整備する必要があるという方向で議論されています。

愛知岳連でも一年半前から個人会員登録制度の採択について話し合われてきました。

岳連では、各クラブ会員の減少抑制や指導員など各種資格の継続、更に連盟行事等の運営協力などを目的に、例えば定年退職による職域クラブの退会やクラブの活動停止・解消などの会員を対象にした個人会員登録制度を設けることなど検討されています。当面は、一般に公示して募

集する前に、従来からの会員の受け皿としての個人会員登録制度を考える、スポーツクライミングの選手登録対象者の受け皿としての個人会員登録制度を設ける、などの内容に示ばられています。

以上の事項が、平成28年度から採用に向け常任理事会や理事会で話し合われてきた経緯です。次回の理事会(3月15日)でも審議の上、総会で可否を決める予定です。

指導員集会開く

指導員集会在東三(豊橋市羽根井地区市民館)で1月12日、県スポーツ会館で1月19日に開かれた。

協議されたのは、指導員資格の有効期限の確認、本年よりリアルペンとスポーツクライミング指導員が別々に登録することになる。また、当岳連の山岳指導員の増員について各団体の指導的立場にある人を指導補助員として育成し、クラブの指導に当たってもらい将来的には上級指導員となつて山岳会発展に寄与してもらうことを目指す。

その他、名誉指導員の明文化、今後の登山勉強会、講習会などについて話し合った。

平成27年度県体協ジュニア育成補助事業報告

クライミング講習会や記録会など

常任理事・高体連 岩狭 満

今年度の愛知県体育協会補助金によるジュニア育成事業が12月をもってすべて終了しました。今年度は競技普及事業としてクライミング講習会を日進市の「クライミングジム自由人」にて2回実施しました。また、ジュニア強化事業としてボルダリング記録会を豊田市の「ロックドラム」にて2回実施し、合計4回の事業で延べ84名の中・高生の参加がありました。

講習会は高校生が参加しやすい夏休みに実施しました。一日の講習会だけでは十分なことではできませんが、クライミングを体験し興味を持つ者が少しでも増えてくれることを期待しています。

一方記録会は、継続して練習に取り組むための目標という位置づけで開催しました。記録会の競技方法は参加者の実力に幅があるため初級と上級の2つのクラスに分け、それぞれ8課題(制限時間90分、1課題につき5アテンプトまで)のコンテスト方式で順位を付けました。また、競技終

了後には国体成年男子監督の佐原氏からのレベルアップ講座を設け、練習方法や課題攻略のポイントなどを解説していただき、非常に有意義な記録会になったと思います。4年後のオリンピック種目候補の関係もあってか、スポ



海外を目指す登山家の研究会に！

第54回海外登山技術研究会

常任理事 星 一男

第54回海外登山技術研究会が、平成28年2月13日(土)と14日(日)に、国立オリンピック記念青少年総合センターのセンター棟会議室にて開催された。

初日の13日は、午後1時30分から八木原会長の開会挨拶で始まった後、「海外登山報告2015」として以下の3隊の報告があった。

1. Japan API Expedition 2015「西ネパール・アビ南西壁をめざして」

ました。尚、記録会の成績は左記の通りでした。

◆第1回記録会(9月26日)

優勝 野中 凜(長久手市立南中)

2位 須澤 葵(名古屋市立浄心中)

3位 高木克則(豊川高校)

◆第2回記録会(12月12日)

優勝 東楚光起(一宮工業高校)

2位 本多由梨奈(岡崎市立竜海中)

3位 福岡太一(豊川高校)

(隊長 平出和也、中島健郎、三戸呂拓也) 講師 三戸呂拓也氏
2012年4月にギリギリポイズが撮った写真には雪があったが、今回では雪が後退していたため北壁初登ルートに変更し登頂する。

2. ヒマラヤキャンプ2015 5隊「ランダック峰・ランシヤール峰登山報告」

(隊長 花谷泰広) 講師 塩谷見司氏、蒲澤 翔氏

建設業許可を取りたい、日本国籍を取得したい(帰化)、遺言を公正証書で作成したい、戸籍謄本や除籍謄本を代行取得して欲しい、任意成年後見の相談をしたい、会計記帳を頼みたい等々

ご相談は行政書士の西山秀夫へ

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目21番21号
(地下鉄・久屋大通駅から徒歩2分) 丸の内東桜ビル1004号室
TEL: 090-4857-9130
URL: <http://www.nygs-office.com/>

名古屋駅前の山用品専門店

駅前アルルス

〒450-0002
名古屋市中村区名駅4-4-10
名古屋クロスコートタワー 1F
TEL 052-565-1417

久々の学生2人による登頂報告。

3. カンテガ・エクスペディション2015隊「カンテガ北壁遠征報告」

(隊長 鳴海玄希、青木達哉、馬目弘仁) 講師 鳴海玄希氏

雪が少なく氷が薄いことにより、登攀時間がかかる。荷上げシステムもうまく機能しないなどから、BC5900mから登るも6300mで敗退する。

この日の最後に、池田常道氏から2015年の海外登山状況の発表と岩崎 洋氏、沖允人氏から、ネパール、ミャンマー、インド、パキスタン、キルギス(中村 保氏資料)、パタゴニア等の各地域情報の報告があった。関心の高いネパールでは地震の影響で物資の不足からか、ガソリンの価格の上昇がみられる。インドの情報では沖氏より、今年も登山料半額が延長される。

翌14日は、午前8時40分より、特集I「特別講演」として沖 允人氏から「インド・ヒマラヤの魅力」と題して、インドの登山事情、未踏の魅力的な山々の紹介

があり関心を集めた。

2. 特集II「下降について」山野井泰史氏「アルパインクライミングにおける下山について」

馬目弘仁氏「アルパインクライミングの下降技能について」

最後に、座談会「下り方をめぐる苦悩」と題して、山野井泰史氏、馬目弘仁氏、司会澤田 実氏の座談会が行われた。

閉会の挨拶で、澤田 実国際委員長は、「2日間の出席者は総数86名、延べ人数は133名と例年に比し盛況であった。これからも今回のように現役で海外登山を目指す登山家を対象とした研究会として企画したい。」と述べられ2日間の予定を無事終了した。

春山遭対会議開催

4月19日(火)午後7時より県スポーツ会館において、春山遭難対策会議を開きます。

春山登山を計画されている団体は、リーダーまたは代表の方は計画書15部を持参して出席してください。

なお、会議に先だって春山の天気予報士の方に解説してもらいます。

印象に残った私の登山

6

前穂北尾根でビバーク

春日井山岳会

坂口 公美

その一つに、2003年5月の前穂高岳北尾根がある。当時、山を始めて5年目、やっと自分達でバリエーションに行けるようになった頃であった。この時も女子2名で、北尾根から前穂高岳に登り、岳沢から上高地に下る1泊2日の計画をたてた。

1日目、上高地から慶応尾根に取り付き、途中で泊。2日目、予定通り早朝から北尾根末端に取り付いた。午前10時、5・6のゴル到着。雪がちらつき出した。「さて、どうする?」「ここまできて勿体無いから、登りましょう。」

途中のルンゼからも恐ろしく急斜面で下れない。頂上まで抜けて、一般道で下るしかない腹をくくった。ロープは氷だし、ガスも出てきて視界が悪くなった。ついに日が暮れて、ヘッドラン行動に。あわてず、スタンスをよく照らし確認して!と相棒にも自分にも言い聞かせる。不意に平らな場所に出て、頂上の標識について。午後9時、下山遅れを携帯電話で、会と其々の家族に伝える。頂上でのツェルトビバーク、翌日のガスの中での下山。岩稜帯に積もった雪を払いながら、ルートを探す。道を見失い、急な草付斜面で滑落しそうになったり。岳沢ヒュッテからは百倍安全な登山道を下った。

上高地に着くと、多くの人が行きかうのを、不思議な気持ちで眺めた。沢渡行きバスの中で、山岳会に下山報告メールをした。「学生のようになんちゃんな山登りができて、よかったね」その返信に、安堵の思いが涙になってあふれた。よかった、二人とも無事下れて。シートに身をうずめて、その言葉をかみしめた。

Renopoint
<http://www.renopoint.jp>
 Original Wear & Goods
 オリジナルウェア・CMウェア (広告掲載)
 カジュアルユニフォーム&グッズ
 デザイン・企画・制作
 お気軽にお問合せ下さい。
 特許出願 GLASS PERCH(グラスパーチ)
 株式会社リノポイント 〒491-0835 愛知県一宮市あずら1-5-7
 TEL:0586-58-5021 FAX:0586-58-5022 E-mail: ito@renopoint.jp

うなぎ錦三丁目 い ば しょう
いばしょう
 〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号
 TEL <052> 951-1166 番
 営業時間 午前 11:00~午後 2:30
 午後 4:00~午後 8:00
 定休日 日曜日・第二・第三月曜日